

-CHAPTER 3-

トレードプランの立案方法

さて、ラインとロウソクの関係性を把握したところで、実際に「FX意識改革ブログ」でやっているのと同じ方法で、トレードプランを作ってみましょう。

チャートは多くの場面で「こうなればああなる」という動きをします。だから、そのパターンを知っておけば、より精度の高いトレードプランを立てられるようになります。それには長い時間相場を見ることが必要ですが、実際私が毎日見てきた中でよくある「鉄板」といえる動きを以下に書きますので、ぜひ参考にしてください。

●トレードプランを作るための準備

FX意識改革ブログでは、日々ドル円のトレードプランをラインとフィボナッチだけで練ってきました。ブログを読んでくださった方は、それだけでトレードのプランが成り立つということを実感していただけたかと思います。

私がラインを引くのは、複雑な相場をシンプルな視点で見るためです。つまり、これも経済物理学でいうところの「繰り込み理論」です。相場のすべてを読み取るのではなく、めだつところにラインを引いて、ざっくり相場を「つかむ」のが目的です。

この章では、「FX意識改革ブログ」流のライントレードによるプラン構築を初歩から解説していきます。

まずは、トレードプラン立案で使うテクニカルを紹介します。以下の4つです。

- 水平ライン

- トレンドライン

- 想定トレンドライン

- フィボナッチ

この4つを使えば、複雑なテクニカルを使わずとも、相場の流れをシンプルにつかむことができ、優れたトレードプランを立てることができます。

ただし、これはトレードプランを考えるための方法です。これでざっくりトレードプランを立てたら、そこからホーミングFXや、ご自分の手法を使ってエントリーをしてください。これをやるだけで、トレードの精度が飛躍的に向上するはずですよ。

会社でも大事な書類をチェックするときは、1人でやらないですね。1人が見た書類を別の人がチェックするといった、ダブルチェックをしているはずですよ。

トレードの事前にプランを練るということも同じです。チャートを見てすぐにエントリーするのでは、ケアレスミスが多発します。まず、最初にトレードプランを作るというフィルターをかけて、手法の精度を上げるわけですよ。

それでは、以下に各テクニカルの基本的な使用法を記します。